産業廃棄物処理計画書

令和 7年 5月 9日

福井市長 殿

提出者

住所 福井市小宇坂町18号41番1

氏名 ユタカ株式会社 代表取締役 髙崎 俊二

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0776-90-1021

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

	<i>p</i> <b>, ,</b>	, H. I.	<b>-</b> 11 79			, pen - 3.7 0
事	業	場	0	名	称	ユタカ株式会社
事	業	場の	所	在	地	福井市小宇坂町18号41番地1
計	Ī	画	期		間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当該	亥事業場	易におい	ハて現	に行	うって	いる事業に関する事項
	①事	革 業	の	種	類	E 2 1 (窯業・土石製品製造業)
	②事	事 業	の	規	模	664,370千円
	31	<b>龙</b> 業	ŧ Į		数	1 4人
	4)	産業廃 の処理			<del> </del>	○コンクリートくず 処理業者(再生)へ委託(再生後はRC40として再資源化) ○汚泥 自社で脱水処理脱水後の汚泥を処理業者(焼成)へ委託(セメント原 料として再資源化)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
	(管理体制図)						
	○公害防止管理者の設置 公害防止管理者 : 工場長						
	公告的正官理名 : 工場長  ユタカ ⇒ 収集運搬 ⇒ 中間処理						
	マニフェスト ⇒ マニフェスト						
産業	<b>É廃棄物の排出の抑制</b>	に関する事項					
		【前年度(6年度)実績】					
		産業廃棄物の種類 コンクリートくず	汚泥				
		排 出 量 1589.96 t	396. 56	t			
		(これまでに実施した取組)	000.00	-			
	O TE AL						
	①現状						
		産業廃棄物の種類 コンクリートくず	汚泥				
		排 出 量 2500 t		450 t			
		(今後実施する予定の取組)					
	②計画	・戻りコンクリートが少なくなるよう生コン購入 前年度以下に削減	人者に依頼する。				
産業	<u></u> 美廃棄物の分別に関す	ı る事項					
1	C/30/K   10 - 30 /3 (1 -   10 - )	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する) (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象) (対象	 ける取組)				
	0.78.4b	コンクリートくずと汚泥は、それぞれ施設内の別		ること			
	①現状	から確実な分別を維持する。					
		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別					
	②計画	産業廃棄物は上記の二種類なので今後も確実な分	7別と 美胞する。				
1		1					

г				
	自ら	っ行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項	
			【前年度( 6 年度)実績】	
			産業廃棄物の種類 ― ― ―	
		<ul><li>①現状</li></ul>	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 — t —	t
			(これまでに実施した取組)	
			【目標】	
			産業廃棄物の種類	
		②計画	自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量 t (今後実施する予定の取組)	t
			(7 後天地 9 分 ) 足の取組)	
	自ら	- - - 行う産業廃棄物の	中間処理に関する事項	
			【前年度( 6 年度)実績】	
			産業廃棄物の種類	
			自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 — t —	t
		①現状	自ら中間処理により減量した   t     産業廃棄物の量   一     (これまでに実施した取組)	t
			【目標】	
			産業廃棄物の種類 ー ー	
			自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 — t —	t
		②計画	自ら中間処理により減量する   t     産業廃棄物の量      (今後実施する予定の取組)	t

- '	っ行り産業廃棄物の	埋立処分又は海洋投入処分	分に関する事項			
		【前年度( 6 年度	E) 実績】			
		産業廃棄物の種類			_	
		自ら埋立処分又は				
		海洋投入処分を行った		t		t
	①現状	産業廃棄物の量	(A. )			
		(これまでに実施した取	組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	_		_	
		自ら埋立処分又は				
		海洋投入処分を行う		t	_	t
	②計画	産業廃棄物の量	<b>∕</b> п \			
		(今後実施する予定の取	紀 <i>)</i>			
産業	業廃棄物の処理の委	託に関する事項				
		【前年度(6年度	要) 実績】			
		産業廃棄物の種類	コンクリートく	ず	汚泥	
		全処理委託量	1589. 96	t	396. 56	
					330.30	t
		優良認定処理業者への	0	+		
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0	t	0	t
					0	t
		処 理 委 託 量	0 1589. 96	t		
		処 理 委 託 量 再生利用業者への	1589. 96	t	0 396. 56	t
	⊕ tH √I'	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量			0	t
	①現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	1589. 96 0	t	0 396. 56 0	t t
	①現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	1589. 96	t	0 396. 56	t
	①現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	1589. 96 0	t	0 396. 56 0	t t
	①現状	処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	1589.96 0 0	t t	0 396. 56 0	t t
	①現状	処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 にこれまでに実施した取	1589.96 0 0	t t	0 396. 56 0	t t
	①現状	処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 にこれまでに実施した取	1589.96 0 0	t t	0 396. 56 0	t t
	①現状	処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 にこれまでに実施した取	1589.96 0 0	t t	0 396. 56 0	t t
	①現状	処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 にこれまでに実施した取	1589.96 0 0	t t	0 396. 56 0	t t

産業廃棄物の種類 コンクリートくず 汚泥 全処理委託量 2500 t 450 優良認定処理業者への		【目標】				
優良認定処理業者への 処理委託量 0 t 0   再生利用業者への 処理委託量 2500 t 450   認定熱回収業者への 処理委託量 0 t 0   認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0 t 0   処理委託量 0 t 0   少理委託量 0 t 0   少月である。 0 t 0   少月の表記の 0 t 0   ・戻りコンクリートが少なくなるよう購入者に依頼する。		産業廃棄物の種類	コンクリートくず		汚泥	
処理委託量 2500 t   再生利用業者への 処理委託量 2500 t   認定熱回収業者への 処理委託量 0 t   認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 熱回収を行う業者への 処理委託量 0 t   (今後実施する予定の取組) ・戻りコンクリートが少なくなるよう購入者に依頼する。		全処理委託量	2500	t	450	t
処理委託量 2500 t 450   認定熱回収業者への 処理委託量 0 t 0   認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0 t 0   ②計画 (今後実施する予定の取組) ・戻りコンクリートが少なくなるよう購入者に依頼する。			0	t	0	t
処理委託量   0   t   0     認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量   0   t   0     処理委託量   (今後実施する予定の取組)・戻りコンクリートが少なくなるよう購入者に依頼する。			2500	t	450	t
②計画   熱回収を行う業者への 処理委託量   0   t   0     (今後実施する予定の取組)   ・戻りコンクリートが少なくなるよう購入者に依頼する。			0	t	0	t
・戻りコンクリートが少なくなるよう購入者に依頼する。	②計画	熱回収を行う業者への	0	t	0	t
		<ul><li>戻りコンクリートが少な</li></ul>	くなるよう購入者	に依頼する	0	

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。